

こうげ 73 議会

2024.2

青空の下で
元気に餅つき!!



住民登場 コーナー

interviewer 渡辺 哲也

趣味で生き生き元気に暮らす

- Q** たくさんの洋蘭を育てていますがきっかけは？
A 退職後、洋蘭を育てていた叔父に声をかけられ鉢を分けてもらったこと。また、平成10年に北九州洋蘭愛好会に誘われ入会したことをきっかけに始めました。
- Q** 現在、どれくらいの洋蘭を育てていますか？
A 正確な数はわかりません。ただ、今まで育ててきたものは全てカトリア属やパフィオ属など属毎に分類しノートに記録しています。その数は1700鉢くらいです。
- Q** たくさん賞をいただいているようですが？
A 北九州洋蘭愛好会の毎月の例会や年2回の展示会、日本蘭協会九州支会審査会に皆で花を持ち寄り楽しむことが主であり、賞は偶然見頃に出品できた結果であり、26年という長い間のラッキーな結果です。
- Q** 洋蘭を育てる上で大変なところは？
A それぞれの洋蘭の原産地の環境(光・温度・湿度等)にいかに合わせていか、その環境づくりが一番大変です。今まで半数以上枯らしてきて可哀想な申し訳ないような悔しい思いもしています。ただ、綺麗に咲いた時の喜びはなんとも言えないものがあります。一番嬉しい時は、蕾を見つけた時で、どんな花が咲くかわくわくします。
- Q** 議会へ一言
A 町民の声をしっかり届け、いい子が育つ町づくりを目指して頑張ってもらいたいです。



北九州洋蘭愛好会で最年長(86歳)
山岡 桂一さん(矢方)

生き活きとした表情で洋蘭のお話をされる姿がとても印象的で、元気に暮らせる秘訣が感じられました。



表紙によせて

餅つきの由来は諸説ありますが、日本には古来より稲作信仰があり、稲は「稲魂」や「穀霊」が宿った神聖なものだと考えられてきました。稲からとれる米は人々の生命力を強める神聖な食べ物であり、米をついて固める餅はとりわけ力が高く、正月にそのお餅を食べることで新年の力がつくと言われています。

住民の皆さんにとりまして、本年が素晴らしい、健康で幸多き一年となりますようお祈りいたします。
渡辺 哲也



議会傍聴のご案内

3月定例会の予定

3月5日(火) 午前10時
本会議(開会、議案の説明・質疑)

3月7日(木) 午前10時
本会議(一般質問)

3月15日(金) 午前10時
本会議(討論・採決)

日程については、変更になる場合があります。

会期日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、詳しい内容については、議会事務局までお問い合わせください。

■開催場所 たいへいの里(大平支所)2F議場

編集後記

岩花 寛之

2024年 ますます輝く上毛町に!

新型コロナが5類となって早半年、長らく停滞していた各種研修や様々な行事が再開されてきました。議会全員研修では和歌山県に伺い、12月議会では多くの議員が研修で得た知見を元に質問が行われました。

そうした日常を取り戻しつつ、穏やかな新年を迎えた矢先、石川県を中心とする能登半島地震が発生しました。当町には活断層は無いとされ、比較的地震の心配は少ないといわれていますが、豪雨被害は毎年のように頻発しております。自然災害は時間や場所を選ばず、いつどこで起きてもおかしくないと改めて感じました。

改選後1年が過ぎますが、今後も起こりうる災害に備えながら、ますます輝く上毛町にしていかなければならないと思いを新たにしました。

■議会広報特別委員会

委員長:三田 敏和 副委員長:高西 正人

委員:田中 唯登志、廣崎 誠治、岩花 寛之、大石 光一、渡辺 哲也

●ご意見・ご感想をお寄せください(FAX 0979-72-2033 ✉ gikai@town.koge.lg.jp)

令和5年第4回定例会(12月議会)

会期:令和5年12月5日(火)~15日(金)

Pick up! 令和5年度 一般会計補正予算 2
2億1028万円可決!

●第3回臨時会 給与改定に伴う補正予算及び関連条例案等 可決!! 5

●議案議決結果及び議員別賛否一覧表 6

一般質問 **ここが聞きたい! 7人登壇** 7

報告 議員全員研修(和歌山県白浜町、印南町) 14

築上郡議長会要望活動・町村議会広報研修会 15

●住民登場コーナー・表紙によせて・議会傍聴のご案内・編集後記 16

一般会計補正予算

1億3975万円

議案第61号 委員会付託案件

一般会計補正予算(第9号)

〈主な事業〉

民生費	令和4年度子ども・子育て支援交付金等返還金	349万円
	令和4年度子どものための教育・保育給付交付金等返還金	293万円
衛生費	老朽危険家屋等除却促進事業費補助金	215万円
	新型コロナウイルス予防接種健康被害救済制度給付金	49万円
農林水産業費	地域計画用現況データ構築業務委託料	88万円
	農林漁業女性ベンチャー育成事業費補助金	111万円
諸支出金	基金積立金	1億1588万円

【質疑】

- 問 〈宮崎議員〉老朽危険家屋等除却促進事業補助金の対象は今回の補正により何件となるか。
- 答 〈住民課長〉今回の補正で5件、今年度すでに5件受付済である。
- 問 〈岩花議員〉農林漁業に関する補助金は県の補助金だが、町の基幹産業として、町独自で追加補助をしてはどうか。
- 答 〈産業振興課長〉基本的に国県の補助金を活用している。半額補助が一般的である。



議案第62号 委員会付託案件

工業等用地造成事業特別会計補正予算(第1号)

成恒地区工業等用地の不動産売り払い収入及び一般会計への繰出金。

1億1588万円



令和5年第4回定例会

補正予算

一般会計(2件)

物価高騰による低所得世帯への給付金など



総額

2億1028万円追加

令和5年第4回定例会は12月5日(火)から12月15日(金)までの11日間の会期で開催され、町長提出の人事案件1件、補正予算3件、条例改正案3件、その他2件の計9案件を慎重に審議し、全て可決しました。主な結果は下記のとおりです。

(千円以下切捨)

一般会計補正予算

7053万円

議案第56号 本会議にて採決

一般会計補正予算(第8号)

低所得世帯への追加給付事業

【質疑】

- 問 〈宮本議員〉低所得世帯への追加給付は何世帯を見込んでいるのか。
- 答 〈総務課長〉本年非課税世帯に3万円の給付を931世帯に実施済で、追加がありうるため1000世帯として計上している。



議案第55号 本会議にて採決

工事請負契約の変更契約の締結

上毛町役場庁舎屋上等改築工事

工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要が生じたため。増工内容は、屋根補強工事の追加、サッシ改修工事の追加など。

【質疑】

- 問 〈廣崎議員〉庁舎は46年経過し、今回、一部の改修をしているが他のサッシも同様の状況であると思うが、来年度にて対応するか。
- 答 〈総務課長〉予算の配分を考えると、直ちに全サッシを取り替えることは難しい。
- 問 〈岩花議員〉漏水対応工事は、庁舎の損害保険の対象となるか。
- 答 〈総務課長〉今回の漏水については、経年劣化ということで保険の対象外となる。



令和5年第3回臨時会

給与改定に伴う補正予算及び関連条例案などを可決

令和5年第3回臨時会は11月27日(月)に1日間の会期で開催され、町長提出の人事案件1件、補正予算5件、条例改正案2件、その他1件の計9案件を慎重に審議し、全て可決しました。主な結果は下記のとおりです。

(千円以下切捨)

人事案

同意第3号 本会議にて採決

固定資産評価審査委員会委員の任命

任期満了に伴い、各氏の選任を同意した。

- 八坂 徳見氏(東下:再任) ●末吉 秋雄氏(安雲:再任)
- 坪根 勝磨氏(宇野:新任)

補正予算

給与改定に伴う補正予算(常勤の特別職及び一般職員の給与改定等に伴うもの)

議案第50号 本会議にて採決

一般会計補正予算(第7号)

〈補正額〉134万円追加

議案第51号 本会議にて採決

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

〈補正額〉60万円減額

議案第52号 本会議にて採決

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

〈補正額〉25万円追加

議案第53号 本会議にて採決

農業集落排水事業会計補正予算(第2号)

〈補正額〉10万円追加

議案第54号 本会議にて採決

簡易水道事業会計補正予算(第2号)

〈補正額〉15万円追加

条例改正

給与改定に伴う条例改正(常勤の特別職及び一般職員の給与改定等に伴うもの)

議案第48号 本会議にて採決

特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に伴う常勤の特別職の期末手当の改定

議案第49号 本会議にて採決

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に伴う一般職の期末・勤勉手当及び給料表等の改定

その他

議案第47号 本会議にて採決

工事請負契約の変更契約の締結(健康増進施設解体等工事)

工事を実施した結果、設計の一部を変更して実施する必要が生じたため。内容は、軟弱地盤の改良工事や、コンクリート殻処分量の増による増工など。



条例改正

議案第57号 委員会付託案件

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

委員会付託案件

法律の改正により、条例の一部を改正。出産される方の産前産後期間相当分の保険税を減額する規定等を改正するもの。

議案第58号 委員会付託案件

印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例

法律の改正により、条例の一部を改正。スマホを利用して、コンビニでの印鑑登録証明書を交付できるようにするためのもの。

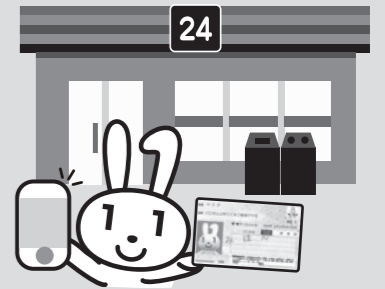
【質疑】

問 〈宮本議員〉今まではマイナンバーカードの利用でコンビニでの交付ができていたが、スマホ利用により併用は可能か。

答 〈住民課長〉併用はできる。マイナンバーカードの機能をスマホに実装することでスマホでの交付も可能となる。

問 〈廣崎議員〉当初はアンドロイドのみの対応ということだが、iphoneについては、いつ頃可能となるのか。

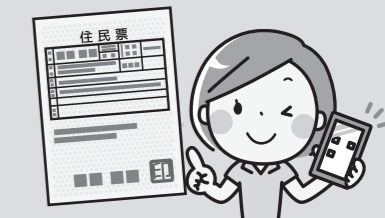
答 〈住民課長〉国の発表がないため、わからない。



議案第59号 委員会付託案件

手数料条例の一部を改正する条例

法律の改正により、条例の一部を改正。コンビニでの証明書を交付した時のスマホ利用での手数料を追加するためのもの。



人事案

同意第4号 本会議にて採決

教育委員会委員の任命

任期満了に伴い、^{みやの まさし}宮野 仁氏の選任を同意した。(再任)



その他

議案第60号 本会議にて採決

財産の処分について

成恒地区工業等用地の企業誘致が整ったため、売り払いについて議会の議決を求めるもの。

問 〈茂呂議員〉地元説明会での意見要望は。

答 〈企画開発課長〉音やほこりの問題や搬入量についての質問があり、それぞれの対策を企業が説明した。



渡辺 哲也 議員

介護行政の現状は

長寿福祉課長 安心して暮らせる取り組みを行う



長寿福祉課長 地域包括支援センターに3名の認知症地域支援推進員を配置し、相談業務、医療機関などへの紹介や連絡調整、必要に応じ介護保険制度の利用に関する支援を行う。認知症の人数は把握していない。推計では500人前後が予測され、今後さらに増加すると推測される。

認知症予防に関する取り組みは。
長寿福祉課長 認知症力フェスを開催し、毎回10名程度が利用。精神保健福祉士による相談会や、認知症を正しく理解するための講座を行っている。また、認知症サポーター養成講座を開催するとともに、認知症力フェスを協力しているサポーターを対象にステップアップ講座を受講してもらい、レベルアップを図っている。各地区のサロンや老人クラブでは、認知症ケアパスを用い、発症予防と切れ目のないサービスの提供についての啓発を行っている。

認知症の早期発見の取り組みは。
長寿福祉課長 地域包括支援センターに3名の認知症地域支援推進員を配置し、相談業務、医療機関などへの紹介や連絡調整、必要に応じ介護保険制度の利用に関する支援を行う。

認知症に対する理解を深めるため、認知症サポーター養成講座を拡充させては。
長寿福祉課長 養成講座の参加者は徐々に増えてきており、その流れを引き続き行っていく。

認知症検診を実施している自治体があるが本町は。
長寿福祉課長 物忘れ相談会や相談業務を実施し、専門医療機関などを紹介し、必要に応じて治療へ結びつけている。

認知症の支援に関する取り組みは。
長寿福祉課長 SOSネットワークづくりとして行方不明に

全国的な働き手不足の中、職員不足の状況ではないか。
総務課長 職員数は条例定数で103名、実員で現在93名。近年、高度化・複雑化する事務処理に対しては、非常に厳しいものがある。

男性職員の育児休業の実情は。
総務課長 本町では性別の区別なく、育児取得可能な制度を整備済である。近年男性職員の育児取得実績はない。

女性職員の幹部登用などの考えは。
総務課長 女性管理職は不在の状況ではあるが、現在5名の



▲認知症サポーター養成講座

全世帯に配布している。今後は若い世代に興味を持ってもらえるような啓発方法を検討する。また、地域の民生委員・児童委員や福祉委員を通じて啓発を行っていききたい。



宮本 理一郎 議員

働き方の実情は

総務課長 疾病や事故などは生じていない



職員の労働過多、それに伴う疾病や事故などの発生はないか。
総務課長 長時間労働に起因するような、疾病や事故などの公務災害はない。

残業・出張・休日出勤などの処理は、適確に処理されているか。
総務課長 時間外勤務・出張・休日出勤などは、その都度適正に処理している。災害時などについても適正に対応している。

残業を頭打ちするような、いわゆる隠れ残業はあるか。
総務課長 時間外勤務は、適正に申請し、命令を受け行うのが通常である。若干の残務整理や、業務を早目に処理したいと自発的に残る職員はいる。

女性職員の近年の募集状況は。
総務課長 直近5年間の採用状況は、採用者26名、うち女性職員13名、本年度の一般行政職の応募状況は、男女比約6対4で、女性が4割である。

職場内で問題意識を共有し、改善する意欲はあるか。
総務課長 よりよい住民サービスを提供するためには、情報や認識の共有が重要。各課にて課内ミーティングを行い、情報共有を図っている。

研修・教育・指導などによる職員のスキルアップを実施しているか。
総務課長 市町村職員研修所での研修の参加や、全体を対象とした職場研修により意識を向上し、スキルアップに努めている。

職場内で報告・連絡・相談の実施励行はなされているか。
総務課長 報告・連絡・相談は、円滑に活動するための基本であり、徹底を図っている。

職員が住民サービス機関で働くという認識はあるか。
総務課長 地方公務員法第3

女性職員の処遇

女性職員の幹部登用などの考えは。
総務課長 女性管理職は不在の状況ではあるが、現在5名の



▲働き方改革とは？



▲役場庁舎内

女性係長がおり、いずれ昇任していくと考えている。

女性の人事異動など、男女平等の原則の基本の遵守についての町長の考えは。
町長 男女関係なく、できる人は採用するし、活用する。



高西 正人 議員

上毛町産品の輸出計画を立てては

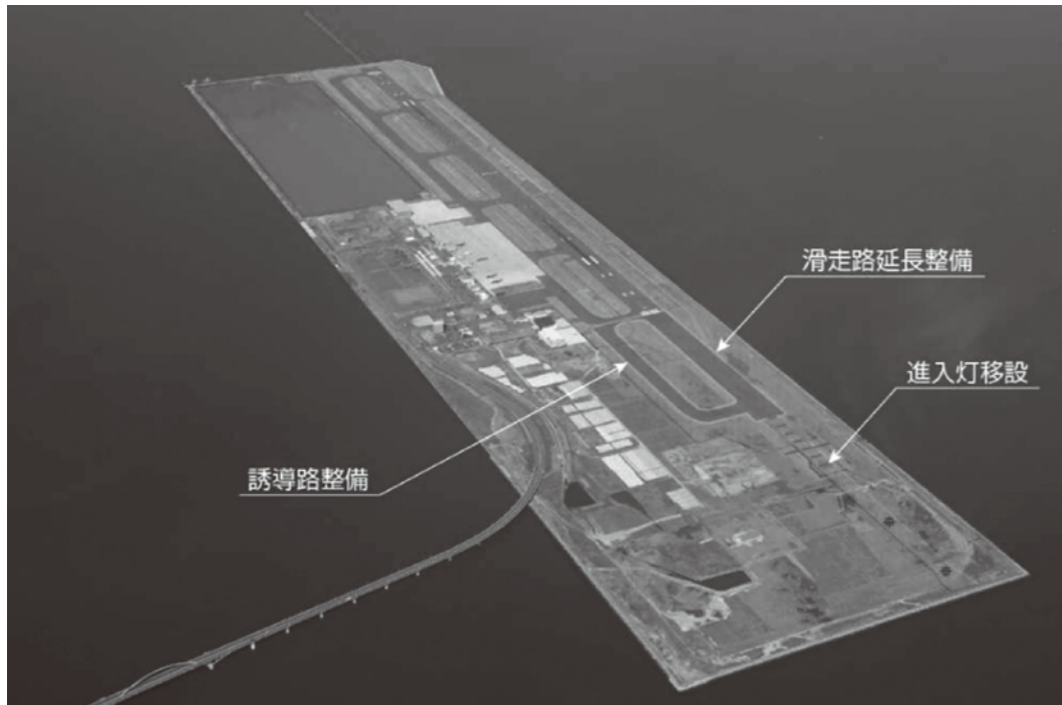
町長 仕組み作りから考える必要がある



動画へGO!

産業振興課長 取引のためには、数量が必要になり、そこから契約へと進むと思う。先ずは生産量を増やすということ

町長 2013年にユネスコの食の無形文化遺産に登録された和食。それを支える日本の農林水産物、食品の海外での評価をどのように認識しているか。産業振興課長 日本が誇る美味しく、質の高い農林水産物や食品は、海外でも高く評価されていると認識をしている。併せて、訪日外国人の方がすしやステーキなど、日本の食べ物を求めているという点からも、高く評価されていると認識している。



▲北九州空港の滑走路延長計画のイメージ

産業振興課長 農産物そのものの輸出というのはなかなかハードルが高い。加工品は現在研究中の段階。加工品が完成すれば、輸出も研究していきたいと考える。

町長 タイとの交流事業を進展させた形で町の将来を見据え準備する。これは本町で第一次産業に携わる方々の所得を増加させる近道となり得るのでは。産業振興課長 農産物そのものの輸出というの

町長 北九州空港の滑走路延長(令和9年8月運用開始)により考えられる効果は。産業振興課長 大型貨物機の長距離運行が可能となり、農産物の航空輸送が十分期待できると考える。

町長 今の時点では、カボチャは農家・土壌によって出来栄えが全然違うと聞いている。その辺が統一でき、ブランド化がしっかりとできれば価格も安定する

町長 考え、その次に北九州空港を活用した、関東圏などへの輸送に繋げていければと考える。町長 逆輸出がうまく行き、その産品を逆輸入で日本国内市場に向

町長 能を果たせなくなるのではないかと危惧されており、航空貨物への需要は増々高まる。販路の開拓としての輸出は研究したいと考える。

廣崎 誠治 議員

特産品の新たな販路の開拓は

町長 ブランディングし、売り上げにつなげる



動画へGO!



特産物の栽培数量販路拡大は

町長 産力を注いでいる作物は。産業振興課長 レモンとカボチャである。

町長 現在レモンの作付は。産業振興課長 約1000本の苗木を配布したが実質750本が販売につながっている。

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。



町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。

農作物の肥料高騰対策は

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。

農業従事者高齢化による対策は

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。

町長 産力振興課長 産力の配布は昨年も行っており、今年度も何本か配布を行う予定である。



三田 敏和 議員

道路整備方針は

建設課長 建設課に課せられた責務

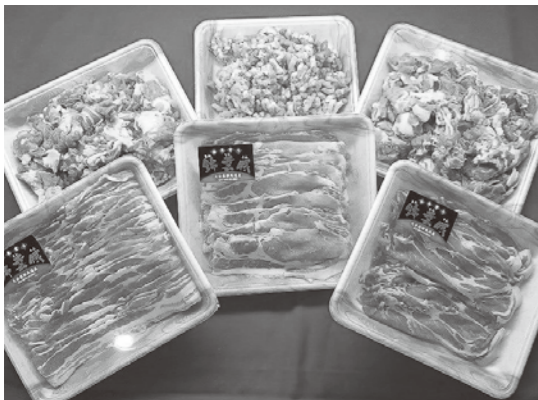


動画へGO!

建設課長 令和7年度からの工事は、早期着手を要望した経緯もあり、用地買収の進捗次第では、来年度着手する予定と聞いている。

建設課長 宇野地区で道路新設改良などが行われ、良くなったと感じているが、経緯は。

建設課長 歩道のない道路の対応は。建設課長 歩道整備は交通安全



建設課長 生活道路として利用されているところは、概ね舗装済みであると認識している。

建設課長 宇野地区道路

建設課長 町長 県道については県に常に要望しているが難しい問題である。地元の情報を集積し対応したい。

建設課長 町長 県道については県に常に要望しているが難しい問題である。地元の情報を集積し対応したい。

建設課長 国道1路線5.3km、県道10路線61.4km、町道882路線308.6kmになる。

建設課長 空き家の利活用を促進し、人口増を目指すためにも、必要と判断した。工事期間中に路線沿線の土地に新たに住居が新築され、定住に繋がった。

建設課長 町長 県道については県に常に要望しているが難しい問題である。地元の情報を集積し対応したい。

建設課長 町長 県道については県に常に要望しているが難しい問題である。地元の情報を集積し対応したい。



茂呂 孝志 議員

来年度の給食費無償化は

教務課長 国・県の動向に注視し検討する



動画へGO!

給食費の無償化を

教務課長 恒久的財源確保の目途がなく、現状では考えていないが、国・県の動向を注視し検討したい。今年度と同様の交付金などが活用できれば、活用はしていきたい。



子ども医療費の無償化を

長寿福祉課長 高校生までも入院、通院の自己負担がないのは豊後高田市だけであり、行橋

長寿福祉課長 加齢性難聴については、定義や聴力レベルなどの基準がないため、実態調査を行うことは困難である。

長寿福祉課長 クレーコート及び旧築上東部運動広場は、設置から42年以上経過し老朽化が進んでおり、対策の検討を進めている。一体的な改修の時期、予算、優先順位、費用対効果など総合的に検討し、実施に向けた具体的な計画を作成したいが、現段階では、はっきりとした



▲大池公園運動広場

補聴器購入費助成制度は

長寿福祉課長 来年度の主要施策として検討を進め、当初予算に計上すべく準備している状況である。



大池公園運動広場の改修は

長寿福祉課長 京築管内では豊前市・みやこ町・吉富町が実施している。

長寿福祉課長 クレーコート及び旧築上東部運動広場は、設置から42年以上経過し老朽化が進んでおり、対策の検討を進めている。一体的な改修の時期、予算、優先順位、費用対効果など総合的に検討し、実施に向けた具体的な計画を作成したいが、現段階では、はっきりとした

市・苅田町・みやこ町・築上町・吉富町は高校生まで入院・通院の医療費助成を行っている。当町と中津市・豊前市は、中学生までは入院・通院の医療費助成はあるが、高校生の助成は行っていない。

長寿福祉課長 両耳の聴力レベルが40から70デシベル未満の程度の難聴者と認識している。

た時期は示すことはできない。施設利用者などを集めた協議会を設置し、要望を反映させる考えはないか。教務課長 今後必要に応じて利用者の意見を集約する方法なども検討したい。

ふるさと納税は

税務課長 寄附金の受領証やワンストップ特例申請の経費（今までは除外）などの経費も含めて全体で5割以下にすることや地場産品の基準が変更された。

税務課長 町長 県道については県に常に要望しているが難しい問題である。地元の情報を集積し対応したい。

第67回 町村議会議長全国大会報告

議長 荒牧 弘敏

11月29日(水)、東京都渋谷区のNHKホールで開催された全国町村議会議長会主催の「第67回町村議会議長全国大会」に参加しました。大会では、令和6年度の国の予算編成及び施策に関する要望や決議、少子化対策の推進とこども・子育て政策の強化を求める特別決議や、議会の機能強化及び多様な人材が参画するための環境整備等に関する決議などが可決されました。

また、フリーキャスターで事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による『地域から輝く日本へ～未来への選択と責任』と題した特別講演があり、地方創生、エネルギー、地球温暖化対策などについて国の委員会の議論に参加しての視点に基づいた内容でした。



築上郡議長会要望活動報告

議長 荒牧 弘敏

国会議員に要望活動を行いました！

今回、全国大会への参加にあわせて、築上郡議長会で取りまとめた要望事項を、吉富町と築上町の議長とともに、地元選出国會議員に対し要望活動を行いました。

要望事項

- ① 周防灘湾岸線道路の整備促進について
- ② 国道10号及び主要県道の整備促進について
- ③ 東九州自動車道の整備促進について

- 訪問先
 - ・武田 良太 衆議院議員
 - ・松山 政司 参議院議員
 - ・大家 敏志 参議院議員



▲松山政司参議院議員に要望書を渡しました
(参議院政策審議会議長室にて)

町村議会広報研修会報告

議会広報特別委員会 委員 大石 光一、渡辺 哲也

11月21日(火)、博多サンヒルズホテルで町村議会広報研修会が開催され、広報委員5名と事務局で参加しました。講師はグラフィックデザイナー・ビジュアルアドバイザー・広報アドバイザーとして活躍され、行政・議会を中心とする広報セミナーの講師を務めている長岡光弘氏でした。

午前の部では、「広報誌作成の基本ポイント」をテーマに、①広報誌としての編集ポイント②情報把握ができる紙面構成③住民に情報が伝わる編集を④住民に情報が伝わる紙面表現をという内容で、実際に事例を交え、使用する字体、色味、レイアウトなどに留意し、読みやすく見やすい、住民視点に立った紙面表現をすることが必要であるということ学びました。

午後の部では、議会広報誌のクリニックで、7町村の広報誌を使い、良い点、悪い点の理由を交えながら講義を受けました。

今回の研修で学んだことを十分に活かし、読みやすい紙面づくりを行い、議会の活動を住民の皆様に理解・共感を得てもらえるような広報誌づくりに努めていきます。



▲講師の長岡光弘氏(左から3人目)を囲んで

議員全員研修 〈和歌山県〉

令和5年10月23日(月)～24日(火)

しら はまちょう
白浜町

高西 正人

サテライトオフィスを活性化に繋げた自治体

10月23日(月)、和歌山県白浜町を議会行政視察に訪問しました。令和2年の国勢調査で人口20262人、面積200.98平方キロ。観光業と農業、水産業が経済基盤。また、沖合に黒潮が流れているということから、一年を通じて温暖な気候で、南紀白浜温泉や椿温泉など、温泉が多く湧出しています。そして、サテライトオフィスの誘致を活性化に繋げた自治体でもあります。

Work(ワーク)とVacation(バケーション)を組み合わせたWorkation(ワーケーション)。リゾートなどの環境の良い場所で休暇を兼ねてテレワークを行うことをいいます。白浜町には、このワーケーションの受け入れのための施設が3カ所。全ての施設が使われなくなった施設または既存施設の改築等で対応しています。2カ所が満床となったため、3カ所目を準備したというほどの盛況です。サテライトオフィスの契約をしている企業はIT企業が多く、様々な奨励金制度を設け、企業に入居してもらい、地元に着けてもらえる努力をしています。進出企業の方々は、浜辺の清掃活動やイベントボランティア、小中学生向けプログラミング教室などを実施し、様々なCSR※活動を行っています。

現在、上毛町でもサテライトオフィスが旧大平ビール館を活用して準備しているところです。白浜町ほどの環境の良さはないかもしれませんが、少なくとも、恵まれた自然環境と上毛スマートインターがあります。北九州空港へは約1時間ですが、特急停車駅の中津駅までは約10分です。今後のサテライトオフィス活用のため、上毛町オリジナルの実施方法に参考となる情報を得ることができた視察でした。

※CSRとは…Corporate Social Responsibilityの略で、企業の社会的責任、企業の社会的貢献。

い なみちょう
印南町

廣崎 誠治

定住促進施策で効果を上げている自治体

10月24日(火)、議会行政視察研修として和歌山県印南町を訪問しました。印南町は和歌山県の中部の西側にあり、令和2年国勢調査人口が7700人、上毛町と同じほど、面積が113.62平方キロ、上毛町の約2倍、一般会計決算が84億円、若干上毛町より多く、定住促進施策で効果を上げている自治体です。南海トラフ地震が発生すれば15メートルの津波が想定される地域で役場を始めとする民間高台へ移転の未来投資事業を行っていました。

50年間で4000人、人口が減少、将来の人口ビジョン国立社会保障人口問題研究所の推計では、2060年には人口が半減すると言われている中、移住定住施策を行った成果として、人口減少が鈍化したとの事でした。

●上毛町が取り入れていない施策は下記の2点でした。

- ①新築住宅等取得助成事業 100万円
1000万円以上の戸建て住宅取得
(新築・中古・改築)に対する助成
※45歳未満

- ②賃貸住宅等建設補助事業 300万円
若者及び子育て世代を中心とした定住促進を図るため、
民間賃貸住宅及び企業の従業員宿舎の建設に対する補助
※1事業4戸以上、新築で10年間は賃貸住宅として運用

■上毛町では定住促進奨励金として固定資産税相当額を交付(3年間)
※最近の若い人が建築するのは小さい家屋が多く(税務課聞き取り)固定資産税相当額は年間13万から14万円である。
新築軽減税(1/2減額)の為、3年間で約21万円。

参考となる施策と思い、人口1万人を目指すための町の施策について、今後も質問していきたいと思いました。

和歌山県

WAKAYAMA

奈良

印南町

白浜町

